

甲佐町議会だより



清

第110号

平成16年7月28日

発行 甲佐町議会

6月定例会



子供達による鮎の放流（甲佐小学校親水公園）

土地開発基金

2億6千万円を廃止

②～③

そこが知りたい Q&A

④～⑤

一般質問 8人 ここが聞きたい

⑥～⑬

合併協議会廃止案を可決

⑭～⑯

研修報告

行政に頼らない地域おこし

⑯～⑮

傍聴席から一言

⑯～⑭



あゆまつり開会式の龍神太鼓



6月 定例議会

- 一般財源化へ
- 土地開発公社は存続

平成16年度 6月定例会は、6月18日に召集され23日までの6日間の日程で開催されました。

今定例会では平成16年度の一般会計補正予算の審議をはじめ、土地開発基金条例の廃止他5条例の廃止および改正案や県内の市町村合併にともなう同文議決九議案をいずれも可決しました。また義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願書や、地球温暖化防止のための意見書を採択し、それも国に意見書を提出することとしました。

なお一般質問には、八名の議員が登壇、町政全般にわたり質問しました。

3億4815万円を可決

一般会計補正予算



土地開発基金条例を廃止

財源確保の対応策として土地開発基金条例を廃止し、基金総額の2億5895万5000円を財政調整基金へ繰入れるもので

土地開発基金を取り崩し財政調整基金へ

乙女小学校児童の通学の安全を確保するためのシャトルバス運行経費150万9000円を予算化するものです。



乙女小児童の登下校に利用するシャトルバス

乙女小児童にシャトルバスを運行

御船町・甲佐町合併協議会の解散に伴い当初予定していた負担金の一部1298万2000円を減額するものです。

甲佐中に教育開発研究推進指定校補助



市街地での写生風景（甲佐中生徒）

合併協議会解散に伴い負担金を減額

地域の特色に応じた教育課程の編成・系統性、計画性のある総合的な学習の時間の実践的研究・選択教科の拡充等により学力向上をねらつて県補助20万円と合わせて40万円補助するものです。

論

点

そこが知りたい!

6月定例会質疑より

Q&A

市街地の
排水対策を！

学校給食に
地元の味を！

物品購入は
専門業者から

Q 物品購入についての見
積書は専門業者から取るべきだと思うが。



市街地排水対策が急がれる岩下地区

Q 新庁舎前の水路の測量
設計委託料があがっているが、
国道の工事もあつて、
関連しているので、やり直
しをしないように設計をし
て欲しい。

A 水路の延長は490mで、
水路調査、水質調査も行う。
排水と道路改良を合わせて
連携をとった設計をしたい。

Q 地産地消ということでお
けないか。

Q 地産地消ということでお
けないか。

A 週3回の米飯給食を行
っているが、現在は県産の
「森のくまさん」を使用し
ている。甲佐の米について
は来年度に向けて検討をし
たい。

乙女小シャトルバスはどのように！

Q 乙女小のシャトルバス
運行はどのようにするのか。

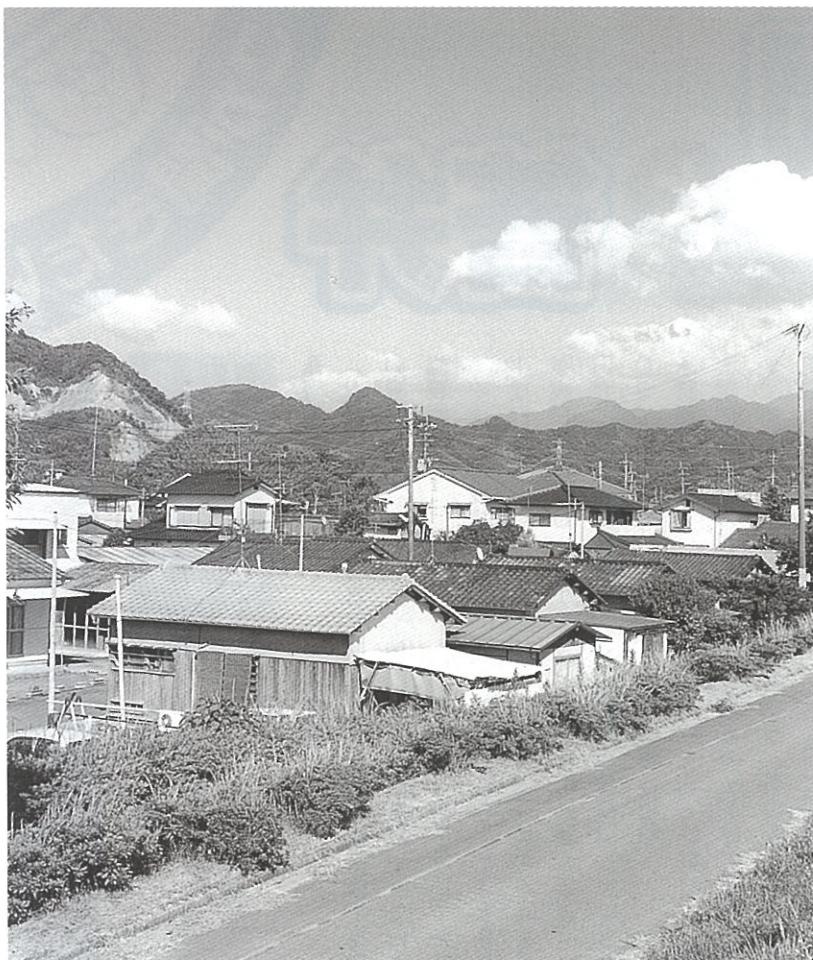
A 1台は府領方面から、
府領、田原の児童を乗せ、
もう1台は甲佐方面から、
船津、麻生原経由で学校へ、
下校時は一便は定期路線バ
スを利用し、もう1便は、
甲佐営業所を出発して、府
領方面を先に送り、帰りに
船津方面を送る計画をして
いる。



給食センターの調理風景

町営住宅の 売払収入は！

Q 補正予算において、町営住宅の不動産売払収入が計上してあるが、全額収入可能か。



入居者に払い下げられた町営住宅緑川団地

不法投棄対策は！

Q 不法投棄の取り扱いにおいて、職員が上司にも報告せず警察に直接届けることは住民に対してのやさしさに欠けているのではないか。

A 町で解決できるものは町で対策をとり、どうしてもできないものは警察等に届けなければならない。また、産業廃棄物等の不法投棄については、住民に理解してもらうようにPRをしていきたい。



今もなお続いている不法投棄



R 市長としても合併を進めていく努力が足らなかつたと責任を深く痛感している。

A 総額1676万円で、緑町町営住宅6戸、横田町営住宅2戸と町有住宅が全部で4戸分で、分割での支払の方法もある。

A 九州用地対策連絡会の基準により評価している。山林の場合反当55万円で、立木は20年生のスギで反当25万4千円程度になる。

Q 用地交渉での立木補償の基準はどうなっているのか。



立木補償はどうなっているか！

合併白紙の 責任は！

Q 合併に関して一億円近い金が支出された。合併が白紙になり、その責任の大半は前町長にあるのではないか。

A 御船の住民投票の結果反対多数で合併が廃止になつたが、これまで任意協議会、法定協議会と議決を行つてきた。御船町長も責任を痛感され謝罪にこられた。甲佐町長としても合併を進めていく努力が足らなかつたと責任を深く痛感している。

一般質問と答弁



いこが聞きたい！

永野義人議員

財政再建を考えよ

町全体の浮揚を考え
有効的な処分

永野義人議員

自由に使える一般財源確保の為、現庁舎跡地の売却

永野義人議員

財政力指数の過去3年間の推移は
総務課長

平成13年度で0・300、
平成14年度で0・314、
平成15年度で0・312で
あり、3ヶ年平均で0・3
09である。

永野義人議員

現庁舎跡地の利活用について
町長

役場跡地の計画について
町長

は、本来、新庁舎建設を進めると同時に旧庁舎跡地の処分も検討すべきでしたが、今現在、はつきりした処分の方針は持っておりません。しかし市街地周辺という好条件の場所に立地しており、市街地の空洞化を防ぐにも定住促進の浮揚のため、最も効果的かつ有効な処分をしたい。



行財政改革が叫ばれる甲佐町役場！

町長
介護費も年々伸びている。
今後は、居宅介護に力を入れたい。

行政問題検討委員会の中で各部会が設置されています。その中で駐車場について今現在、検討中であります。

町有地「駐車場」、町営住宅の払下げ、職員のリストラ、各種委員会報酬の見直しの対応は。

他町村では一元化になっている状況である。本町でも一元化に向けて今後内部検討を図りたい。

介護費用は、平成12年度と14年度の比較は、居住82%増、施設で89%で変化し、又介護保険料は、12年度と15年度を比較すると13%の増である。

永野義人議員

介護予防拠点施設を利用される高齢者の方々の今後の必要性は。

職員の格付の一元化の実施
一元化に向け内部検討

予防体制の強化を図れ
健康なまちづくりと
居宅介護に力を

永野義人議員

郡内町村の職員の格付
総務課長

本町職員の給与。体系は、
行政職給料表適用職員124名、
医療職給料表適用職員9名、
技能労務職給料表適用職員

12名であります。なお他町

村については、このような
例はありません。

1各減員は他町村と比較

しても少ないと体制度ではない

と考え、当分は現体制で頑張つていただきたい。

又、医療予防体制の強化を図る為、節目検診、総合健診、ガン検診を行い積極的に今後も実施し、生活習慣病の早期発見や健康増進を目的に健康なまちづくりに努力したい。

町長

保健師が、社協に1名派遣された、職員の補充は。

永野義人議員

郡内町村の職員の格付
総務課長

本町職員の給与。体系は、
行政職給料表適用職員124名、
医療職給料表適用職員9名、
技能労務職給料表適用職員

12名であります。なお他町

村については、このような
例はありません。

1各減員は他町村と比較

しても少ないと体制度ではない

と考え、当分は現体制で頑張つていただきたい。

又、医療予防体制の強化を図る為、節目検診、総合健診、ガン検診を行い積極的に今後も実施し、生活習慣病の早期発見や健康増進を目的に健康なまちづくりに努力したい。

町長

保健師が、社協に1名派遣された、職員の補充は。

永野義人議員

郡内町村の職員の格付
総務課長

本町職員の給与。体系は、
行政職給料表適用職員124名、
医療職給料表適用職員9名、
技能労務職給料表適用職員

12名であります。なお他町

村については、このような
例はありません。

1各減員は他町村と比較

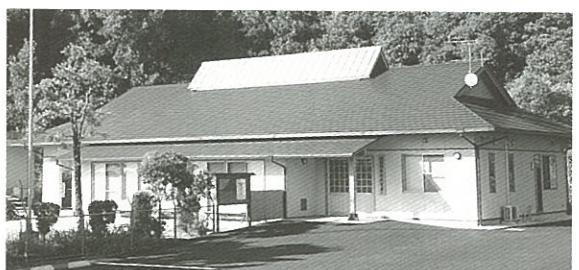
しても少ないと体制度ではない

と考え、当分は現体制で頑張つていただきたい。

又、医療予防体制の強化を図る為、節目検診、総合健診、ガン検診を行い積極的に今後も実施し、生活習慣病の早期発見や健康増進を目的に健康なまちづくりに努力したい。

町長

保健師が、社協に1名派遣された、職員の補充は。



介護予防拠点施設の白旗ふれあいセンター

高木英吉議員

町の伝統・文化・歴史・教育を守れ

子供の教育で将来のまちづくりを

町史編纂を

高木英吉議員
地域の伝統、文化、歴史、教育は財産である。

伝統文化の中では、あゆまつりは甲佐の最大の行事でありこれが衰退しないよう関係者の研究が大事である。また甲佐の歴史を残す為に、町史の編纂をするべきと思うが。

教育長

町史編纂で、当町には歴史研究室で20名程の方がおられる。この組織を中心には早速、検討委員会を立ち上げたい。

地域に元気を

高木英吉議員
過日、鹿児島の柳谷地区的公民館活動を研修し勉強になった。今後、公民館活動の延長として、地域が「小の可能性」を活かす為の、

企画費、研究費の考えはないか。

町長

議会の財政問題等調査委員会の研修の資料を見て、いいまちづくりをしている

地域と思った。農産物のブランド化にしても、地域々々の組織でやるべきと思うし、地域の活動を公民館活動の中に入れていくならと思う。



将来を担う子供たち

子ども議会を
町外への人口流出抑制を!
道路行政に力を

高木英吉議員
子供に「これから甲佐町」を語らせたら愛町精神が湧くのではないか。その一つとして子供議会を提案する。

高木英吉議員

合併対象の町村との文化的交流を図る為の道路整備をするのが、合併を進める親となる国県の仕事ではないのか。例えばトンネル（妙見谷）について尋ねる。

トンネルの4車線の改良も大事な事業であり、県の方に要望する必要があると思う。

将来の合併があるなら、内閣には、名所やながあり、二つのキャンプ場、陣内館という遺跡もあり、観光推進の為にも、道路行政に力を入れる必要がある。

町外に出ない工法も、人口増対策の一つと思う。

要綱で、今回は町内の方々も含めて改正の要望をし、手続きを進める。PRについては住宅会社等に依頼し、機会をみて新聞などにも取りあげて貰いたいと思う。

企画振興課長

建設課長

小鹿地区で、井戸江峡谷キャンプ場前から宮内小学校

付近まで、県土木での調査が済み、H16年は用地の交渉と聞いている。

また上豊内のバイパスについては、本年度に測量調査者を願っていると聞く。

定住促進要綱で町外の方々に支援する制度があると聞く。今後、町内の方にもそのような制度は考えられるのか。またこれについての、町外への宣伝PRをするべきであると思うが。

高木英吉議員

定住促進要綱で町外の方々に支援する制度があると聞く。今後、町内の方にもそのような制度は考えられるのか。またこれについての、町外への宣伝PRをするべきであると思うが。

定住促進要綱とは



測量が済んだ県道三本松甲佐線(小鹿地区)

北畠常博議員

住宅政策で人口増を
限られた財政の中で考える



続々と新築される星の川団地

北畠常博議員

甲佐町の活性化を充実させるには、皆が切磋琢磨し努力しなければならない。

また甲佐町も少子化で、子供が少ない。今後、人口増を図る為にも住宅政策を考えるべきではないか。

町長
御船町との合併が白紙化になり、当分の間、単独での町政運営となる。自立への道は大変厳しい。そのような中で長期的展望にたつた予算編成を行う考え方から、行財政改革推進本部を設置し、行財政問題等検討委員会を立ち上げ活動している。

今後、これらの手段、方法が定まった時に、議会の財政問題等特別委員会との協議を行いたい。また、財政問題等自立に向けた予測等について住民の理解を得る為の住民説明会を実施する方向で考えている。

人口増の為の活性化には限られた財政の中で何が必要なのか、今後検討していきたい。

北畠常博議員

甲佐町が今後、活性化を図るには、課長方も多数お

られ、その知恵を借りて一

つにまとまって大きな町づくりを考えるべきと思う。

それについて、町長、助役、総務課長が代表してどのように思われているか。

北畠常博議員

甲佐中学校は、大型改修の予定だったが、阪神震災で建て直しか出来なくな

農産物である。
人を寄せる温泉、公園等をつくつて、そこでいい品

甲佐に一番必要なのは、

間の制限の上質問を終了され、文書にて答弁を求められました

かたく、補修された経緯もある。これらについて教育長はどうのように考えているか。

北畠常博議員

（以上の点については時リーダーシップを町長、として職員の大きな目で考えて努力すべきである。

つた。また運動場が狭くて物を売る。そして、そこから発信する。



老朽化が進む甲佐中学校舎

町の行政運営方針は！
短・中期的な計画を作成したい



行財政改革を目指す財政検討委員会の会議風景

山内勲議員

御船町との合併が白紙になつたということで、当面は町単独で厳しい町行政運営をやらなければならぬと思う。どのような方針、いかなる政策を考えているのか？

町長

現在、政府は、経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004の中で三位一体の改革を進めて行くこととしている。内容としては、必要な行政課題に対しては適切な財源措置を、地方団体の安定的な財政運営に必要な一般財源の確保を、地方団体の効率的な財政運営に促進するよう交付税の算定の見直しの検討などその方向性を示している。このような環境の中で執行部としては、長期的展望に立った町政運営を見越した予算編成を行つていきたいとの考えから行財政改革推進本部を設置している。当面は平成17年度の予算編成に向けて、短期的取り組み事項を選び、又18年度以降の中長期的な計画を作成し、自立の道が開けるよう進めたい。

6月議会

役職	委員名
委員長	山口照雄
副委員長	本田新
委員	岩村辰雄
委員	中村幸男
委員	奥名克美
委員	高木英吉
〃	渡辺俊一

人材育成基金の運用に疑問？

調査特別委員会を設置！

6月定例議会において、本町の人材育成基金の管理運用について質議があり、昨年の人材育成基金の運用方法に疑問が投げかけられた。

人材育成基金は、本町の産業、教育文化及び福祉の分野において活躍する指導者の育成並びに広く町民の資質の向上を図ることを目的として設置されているが、その運用に当たっては町長がその都度委員会を開催して、人材育成基金の目的に適合しているか審査するように規定されており、平成14年度の一部と平成15年度の支出については委員会を開催されておらず、町の規則から勘案すると規則違反の疑いが浮上した。

以上のような理由から町議会では人材育成基金調査特別委員会を設置して、閉会中に継続調査することに決定した。なお、特別委員会の委員は次に議員が選任された。



山口照雄議員

新庁舎の職員駐車場に異議アリ
駐車場スペースは足りないので対策をとる

指定管理者制度の導入を急げ

本気で取り組んで行く

山口照雄議員

山口照雄議員
新庁舎の駐車場スペースはどうなっている。

今後の問題である。

法律に基づいて行うので、
基本的に変わりはない。た
だ利点として、申請手続に
要する日数が短縮できる点
がある。今回は早急に完成
させたいので、民間へ申請

山口照雄議員
完成を記念して、イベン

トの行う予定はあるのか。
内部で検討してみたい。

町長

山口照雄議員
期限を設定して解決すべ

議会は、全国にさきがけ
て指定管理者制度について
東京の法制局へ行つて勉強
し、執行部へ提案した。

しかし、町の取り組みは
進まず、県内ではあちらこ
ちらで始まっている。
本町の現状はどうなつて
いるのか？

ら、問題を解決していく。
問題の先送りにならない
よう本気で取り組んで行く。

総務課長
来客用に81台、職員用が
25台少なくなる。

山口照雄議員
来客用を中心とした駐車
場にすれば、来客者はどこ
にでも駐車できる。

山口照雄議員
駐車場のスペースは、足
りない。来客者の為に対策
をとりたい。用地の取得も

山口照雄議員
城平山問題に期限を設けて解決を図れ！

山口照雄議員
90台計画していたが、議会
棟の計画もあり、職員用が
来客用に81台、職員用が
25台少なくなる。

山口照雄議員
生涯学習センターでイベ
ントが開催される時は、職
員用は他の駐車場を利用し
たり、自転車、バスを利用
して来客のスペースを確保
したい。

山口照雄議員
元請業社への発注20%枠の調査は！
元請業社と協議を行いたい。

山口照雄議員
地元業社への発注20%枠の調査は！
元請業社と協議を行いたい。

山口照雄議員
新庁舎の建設には、地元業社
育成の為や地元経済効果を
考えて、特約条項を特別に
設けてある。

山口照雄議員
その点について調査すべ
きでは。

山口照雄議員
城平山の問題は、二十年
近く経っている。その間、
痛しい事故も起きている。
期限を設定して解決すべ

山口照雄議員
新庁舎建設の建築確認の申
請は、民間団体にしてある
ようだが、県に申請するの
が通例だとと思うが、問題な
いのか？

山口照雄議員
町として十分に確認して
いい。今後調査をし、元
町長

山口照雄議員
県と民間団体の審査は、

民営化を進める上で、職
員の配置で悩んで進まない。
では、どうするのか。
例えば、老人ホームに年
3000万の持ち出ししながら
くなる、民営化すべきでは。
町長

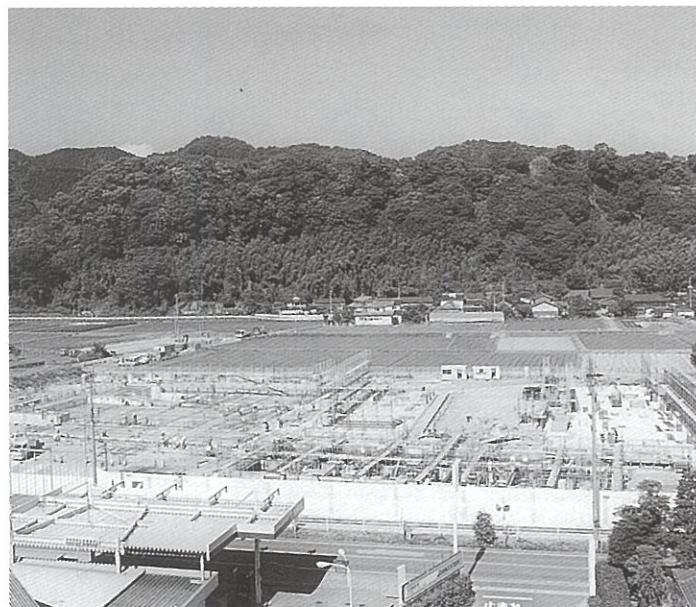
山口照雄議員
新庁舎建設には、地元業社
育成の為や地元経済効果を
考えて、特約条項を特別に
設けてある。

山口照雄議員
その点について調査すべ
きでは。

山口照雄議員
城平山の問題は、二十年
近く経っている。その間、
法律上の問題もあり、弁
護士と相談し、早急に対策
を打ちたい。



民営化が求められる緑川荘



急ピッチで建設中の役場庁舎

ブランド化を進めて、農業振興を図れ！
地域連携を取り、甲佐ブランドを確立したい。

少子化の現実と対策を問う

町を挙げて対策を講じる

本田新議員

15年度の甲佐町の出生数は58名であり、ここ数年激減している。隣接町村と比較して上で、町の認識と対策を示してほしい。

熊本市に近い所にある町長

ではあるが、高校の学区制の問題があり、人口増につながっていない。住みやすい町づくり、産業の振興等環境づくりの対策が必要になっている。

本田新議員

もう一つ統計から明らか



宮内小の少人数の授業風景

に20代から40代の若い世代も激減している。産業の育成・住宅政策の推進が必要では。

町長

企業の誘致も、この不景気では進まない。農業の振興も進まず、後継者不足となっている。国にもつと農業振興を働きかけたい。

本田新議員

出生率も県下ワーストで

若い世代に子供を増やしてほしいわけだが、子育て支援、教育費支援を充実させる必要がある。合併の白紙下の状況で予算の確保はどうできるか？

町長

町独自の支援は、やつているが、保育料もかなり高い。次世代育成のため、国を挙げて支援策を充実させた上で、講じてほしい。

本田新議員

女性の立場、母親の立場に立つて、少子化対策を考え、意見、希望を把握された上で、講じてほしい。

町長

町を挙げて、少子化対策を講じる必要がある。十分に検討していくく。

本田新議員

ブランド化を目指す場合

各農家が一体となつて、品質の向上を図ることが必要である。低農薬、低化肥料を進め、統一した高品質

の農産物を作ることが大事だ。たとえば、鹿児島では土着菌を利用している。甲佐町でもEM菌を活用する手もある。町の行政指導を期待する。

農政課長

各農家が生産体制を統一し、安心、安全な高品質の農産物を生産することがブランド化につながる。

販売についても、JAとタイアップしながら売り込みも必要だ。

本田新議員

ニラについて言えば、企業とタイアップしてニラぎょうざの生産も考えられし、町と生産者団体が協同で出荷協議会を設立し、販売拡大も考えられる。

町の姿勢、方針を示してほしい。

町長

良い品物を甲佐ブランド

として確立していくには、地域の連携が必要であり、企業と連携して農産品を作



大型施設による花の栽培風景

ることも必要だと思う。今後検討を重ねながら、ブランド化づくりに努力していく。

企業と連携して農産品を作

中 村 幸 男 議 員

公共工事の用地買収基準は！
用地取得等対策委員会で基準設定

合併白紙の原因と費用を！

町有施設の管理状況は！

主に担当課で管理している。

中村幸男議員

本町には町部局、教育委員会部局など、数多くの町有施設があるが、それらの維持管理状況はどのようになっているか。

町長

町有施設は、町部局が75件、教育委員会部局が18件で土地が119件、河川敷利用の公園が4件、管理は各担当部所で行っているが、管理会社や個人への委託でも対応している。

中村幸男議員
国道、県道、町道の町内での用地買収における、土地、補償費などの算定する明確化された基準はあるか。

建設課長

国道、県道の新規事業においては、不動産鑑定士を入れる。継続事業については表示価格等を基準に設定している。町道については用地取得等対策委員会の中で字ごとや土地の分類ごとに価格を設定している。町の補助事業にも不動産鑑定を依頼している。補償基準については、損失補償基準書に基づき計算している。

中村幸男議員
今年中止になつたのが、芸能大会、バンドコンサート、作り物のコンクールの他、盆踊りの会場が、甲南パーク周辺から、甲佐小グラウンドに変更になつた。



国道443工事中写真(H15)

御船町民への説明不足も原因

中村幸男議員

合併白紙の原因とこれまに要した費用を示して欲しいその費用に対する考え方。

町長

御船町の住民投票で8割近い反対があつた。住民に対する説明不足もあつたかも知れない。

住宅地で活性化をは！
新庁舎完成後、現庁舎の市街地活性化に向けた跡地利用計画は。

中村幸男議員

町の活性化のためにも住宅ができるのが良い方法だと思う。

町長

市街地活性化に向けた跡地利用計画は。

本町には町部局、教育委員会部局など、数多くの町有施設があるが、それらの維持管理状況はどのようになっているか。

中村幸男議員

人材育成基金助成に問題あり

メイン会場は甲佐小グラン

鮎祭りの行事内容は！

審査を委員会に図るべきだった。

中村幸男議員

鮎まつりの昨年と今年の行事のちがいは。

企画振興課長

今年中止になつたのが、芸能大会、バンドコンサート、作り物のコンクールの他、盆踊りの会場が、甲南パーク周辺から、甲佐小グラウンドに変更になつた。

町長

昨年は要望もあり130万円の助成をしている。支出の方法で審査委員会にかけるべきだったと思う。

中村幸男議員

新庁舎は住民の利便性を考えて！

総務課長

合併白紙の原因と費用を考えなく、設計変更があ

合併後の職員配置を考えた計画であつたのでスペースが不足する。議会関係の諸施設を別棟に建設し、利便性の高いものにしたい。



特産品づくりに努力を！
ブランド化を研究

中村幸男議員
農業ビジョンと特産品づくりに努力を。

多額の経費を使い合併が白紙となつた。単独でいく農業ビジョンは修正中でどうしても無駄にならないよううにその資料を今後の町づくりに活かしたい。

農政課長

農業ビジョンは修正中である。ブランド化に向けては研究したい。

御船町に抗議の否決

5月19日に甲佐町では臨時議会が開催され御船町との合併廃止議案が反対多数で否決された。

否決の理由として、御船町が4月25日に実施した住民投票で甲佐町との合併賛成が1962票、合併反対が745票と約8割御船町民が甲佐町との合併に反対を表明した。甲佐町と御船町は平成14年12月25日に合併に向けての合併協議会を設立し、今日まで幾度となく協議を重ねて來ているが、議員からの発言で「御船町が御船町民に対する合併の必要性への住民説明が不十分であつたのではないか。また、住民投票に対する御船町と御船議会がPR活動をしておらず非常に不信感を持つ」との意見が出され、素直に合併廃止案に同意できないとの意見が多数をしめた結果、御船・甲佐合併廃止議案が御船町への「抗議」の意味を込め、否決された。



再提案された御船町との法定協廃止案を可決した
御座ります。

法定協廃止案を可決

御船町長は住民投票の結果を踏まえて「今まで長い期間にわたり合併協議を進めてきたが、住民投票の結果、非常に残念で大変ご迷惑をかけた。甲佐町の執行部、議会、町民に対しても詫び申し上げます。反省している」御船町議長より「正式な報告が遅れたことをお詫び申し上げます」との謝罪があつたことが報告された。

臨時議会では、議員から「御船町がお詫びに来町されたことは理解する。なぜ御船町が他町村でもあつてはいるような合併賛成の宣伝カーを出して宣伝合戦をやらなかつたのか、このようなことでまだ不信感が残る」 「府舎及び学習センター建設が駆け込み事業と見られた」 「甲佐町のことが御船町民に正しく理解されていなかつた。」

しかし、両町の将来を考えた時、「禍根を残さない方が良い」との意見が出された。今後、「単独の道」を選び、行政執行可能な行財政運営に向けて、早急な改革が必要との考え方から御船町との合併協議への解散廃止案に全員一致で同意した。

第4回 臨時議会

「抗議の否決」

**御船町より謝罪
一転して合併廃止議案可決**

前回の臨時議会において、合併廃止議案が否決された為再度、5月26日に臨時議会が開催された。

のため来町されたことが報告された。

のため来町されたことが報告された

ことになる。町議会現在の義務教育国庫負担制度の堅持し、内閣総理大臣ほか関係大臣に対して意見書を提出した。

国は学校事務職員、学校栄養職員への国庫負担削減を見直し、又は廃止を検討している。そのようになれば、その負担は市町村に転嫁され町の財政を圧迫することになる。町議会現在の義務教育国庫負担制度の堅持し、内閣総理大臣ほか関係大臣に対して意見書を提出した。

本町の小・中学校の学務事務職員および学校栄養職員の代代表義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願が提出され、6月議会において審議された。

法定協廃止案を否決

6月議會
請願・陳情

義務教育費國庫負擔制度
堅持之我見（續）

堅持を求める請願を採択



地球温暖化防止に向け森林 吸収源対策を求める意見書採択

森林は木材の供給はもとより、国土の保全、良質な水の安定的な確保など多面的機能を有してゐる爲、國に於ける

では森林整備の論文を第一回充実させ、温暖化対策税の創設とその税を森林整備を推進するための新たな財源として位置づけて林業の活性化並びに山村振興を求めて町議会で決議した。なお、国の衆議院議長、総理大臣ほか関係大臣に意見書を提出した。

行政に頼らない地域おこし

財政問題等調査特別委員会



豊重柳谷公民館長より
土着菌の説明を聞く委員会

本委員会は6月9日に鹿児島県内にある「行政補助金に頼らない地域づくり」に取り組んでいる小さな集落を訪ねました。

この集落は、鹿児島大隅半島の鹿屋市に隣接する人口1万4千人余りの串良（くら）町の一集落で、所帯数130戸の柳谷地区です。

柳谷地区での集落運営は、すべて公民館活動で行なわれています。ここで公民館長をされている豊重さんは、土の中に生息する「土着菌」を利用して「土着菌飼料」を製造販売され、その益金は全て集落の高齢者対策事業、子供達の奨学金として貸与事業などに活用されていました。

① 土着菌を集落の全部の家畜の飼料に混ぜて与えてくれています。ここで公民館長をされている豊重さんは、「ゼロ」「ゴミ搬出ゼロ」を着目され、土着菌の性質を利用して「土着菌肥料」を製造販売され、その益金は全て集落の高齢者対策事業、子供達の奨学金として貸与事業などに活用されていました。

② 生ゴミ処理器を全戸に配付し、土着菌を使い悪臭

③ 集落みんなで「さつまいも」を生産、100万円の益金は集落の収入。

④ 集落の一人暮らしの高

齢者宅には、緊急通報装置

を設置、また窓には防犯警報を集落の予算で設置。

⑤ 柳谷地区では年間千二

百人の視察団を対象に「手

打ちソバ」を提供する食堂

を開店し集金は集落の収入。

⑥ 公民館で生産した「さ

つまいも」を利用してオリ

ジナルの焼酎を生産販売さ

れ、利益は集落の収入。

⑦ 土着菌の発酵熱を利用して、大衆向けの蒸し風呂

以上のような事業を集落ぐるみで取り組み、そこから得た利益はすべて集落の事業に還元する柳谷地区は、近々、法人化に向けて研究中、安心して暮らせる集落を目指し「行政補助金に頼らない地域づくり」に奮闘中の鹿児島県串良町の集落「柳谷地区」の活動を視察した研修報告とします。

この柳谷地区で活動状況を紹介します。

豊重柳谷公民館長より
土着菌の説明を聞く委員会

始良町の議会広報は、昭和47年（本町は52年創刊）に創刊され現在で130号（本町は109号）を発行されていて、鹿児島県や全国議会広報コンクールにおいて

入賞し、鹿児島県内でもレベルの高い広報紙として評価を受けています。

始良町議会では委員5人体制で編集が行われ、議会終了から発行までの日数が本町より早く、その編集方法に質問が集中しました。

全面カラーでレイアウトもすばらしく、レイアウトには何回となく編集をやり直しをする力の入れようでした。

本町議会では、議会終了

5月14日から2日間の日程で議会広報編集委員会は開催の編集状況について視察研修をしてきました。

始良町は鹿児島県のほぼ中央部に位置し、静かな錦江湾と雄大な桜島を臨む、薩摩、大隅半島の接点にある人口4万5千人の町であります。

始良町議会では議会録原稿の作成を待つての編集を行うため発行が遅れていたが、始良町では全く会議録は参考にせず質問要旨や答弁書を提出させ一週間連続で編集作業をしておられました。

早速、本町でも早期発行に向けて、作業手順を見直しつて行きたいと思います。

町民が目に止めて読んで頂ける広報紙を目指して頑張

鹿児島始良町議会 全国入選議会広報を学ぶ 議会広報編集特別委員会



議会広報編集について意見交換をする委員会

傍聴席が一つ

学童保育 感謝しています！



金柿真理（辺場）

今年、長男が小学校に入学し、早いもので、もう一学期も終わり初めての夏休みを迎えました。すべてが子供にとつても、私にとつても初めての事でドタバタした数ヶ月でした。そんな入学時期にひとつだけ不安になつたことがありました。それは学校が終了した後の子供の保育の事です。子供を保育園に入園させて以来、ずっとフルタイムで働いてきました。しかし、それをパートタイムに切り替え、何とか自分で頑張ろうと考えて見ましたが、やはり無理があり子供一人を家に待たせる状態が何日か続きました。

そんな時、保育園から学童保育の話を聞き、すぐ救われる思いがしました。しかしながら、世の中には「子供を預けてまで働く、なくとも良いのではないか」と言つた意見も多く、母親として今の状態が本当に良いのかという迷いもあります。でも、私は母親が仕事を持つことでリフレッシュでき、子供に接する時間を大切にできるのではないかと考えます。出生率が減少している昨今、家庭や職場など、もつと子供や女性を取り巻く社会の環境が変われば、仕事を持つ母親にとって本当に楽しい子育てができる、その結果、出生率の増加につながるのではないでしょか。

知っていますか？

議会のしくみ

（議会の種類は、定例会と臨時会）

①定例会：定期的に招集される議会のこと。

毎年四回以内において条例で定めるとなつています。三月、六月、九月、十二月が通例です。

町長または、議員の四分の一以上の要求があつた場合、町長または、議員の四分の一以上の要求があつた場合は、「上益城市」「緑川市」が通例です。

編 集 後 記

人・緑・清流キラキラ輝く新しいまちづくり！

市町村合併に向けてのキヤッチフレーズであった。新市の名称が最後まで残ったのは「上益城市」「緑川市」だった。

しかし、5月末で御船・甲佐合併協議会は解散、それ両町は「独自の道」を歩むことになった。

先日、潮谷知事は両町の町長、議長に「甲佐町と御船町が自己選択、自己決定により合併を廃止された責任は重いものがある」と表明された。

国の三位一体の改革、補助金・地方交付税の削減、いつこうに進まない国から地方への税源移譲、最悪状態だ。

6月から本町では財政再生に向けた検討委員会が立ち上げられた。今後、改革への道をどのような形で町民に示すことになるか。積極的な取り組みを期待したい。

- ミニ用語辞典
- 招集：議員を集めて会議を開くことで、集める権限は町長がもつている。
- 開会：議会の活動を始めること。
- 閉会：議会の活動を終わること。
- 散会：議会の会議は、その日予定された議事はその日に終わることが原則である。
- 会期：議事の全部終わって本会議を終えることをいう。議事の一部を残して会議を開じることを延会といいう。
- 定足数：会議を開くのに必要な議員の出席数。
- 議員定数の半数以上の出席が必要。
- 表決：多数決主義で、出席議員の過半数の賛成が必要。
- 原則としては、棄権・無効投票を含めての表決の過半数となる。
- 会期不継続の原則：会期中に決議できなかつた議案は、会期が終わるとともに消えてしまい、次の会に持ち越さない。
- 除斥：審議される事項に何らかの利害関係をもつ議長や議員は、議事には参加できない。
- 一事不再議：一度議会で議決した議題は、その会期中に再び提出することはできない。

